

生活を支える下肢装具

304-310 **1** 補装具（下肢装具を中心に）に関する制度と課題
●伊藤利之

311-315 **2** 在宅向け短下肢装具の最近の動向
●浅見豊子

316-319 **3** 回復期リハ病棟から下肢装具使用患者を
生活期につなぐための配慮点
●佐藤新介，他

321-327 **4** 生活期における下肢装具
●中筋祐輔，他

328-331 **5** 在宅における短下肢装具のチェックポイント
●坂井一浩



長く通所リハに通われている方々の中で、下肢装具を適切に着用していたならば、もう少しは安定した歩行ができたのではないかと思われるケースを見かける。おそらく急性期、回復期、生活期の各期でのかかわり、あるいは各期の連携などに何らかの課題があるからこそ、このような残念なケースに出くわすのであろう。

生活を支える下肢装具を取り巻く課題にはどのようなものがあるのか？

課題解決に向けては、どのような取り組みが大事なのか？

本特集がそれらについて考える機会となれば幸いである。

企画担当 ● 佐藤浩二（大分岡病院，作業療法士）